

令和 2 年第 6 回防府市議会定例会会議録（その 1）

○令和 2 年 1 2 月 8 日（火曜日）

○議事日程

令和 2 年 1 2 月 8 日（火曜日） 午前 1 0 時 開会

- 1 開 会
- 2 会期の決定
- 3 議席の変更
- 4 会議録署名議員の指名
- 5 市長行政報告
- 6 選任第 6 号 防府市監査委員の選任について
- 7 選任第 7 号 防府市教育委員会委員の選任について
- 8 選任第 8 号 防府市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 9 報告第 3 3 号 有限会社野島海運の経営状況報告について
- 10 議案第 6 9 号 指定管理者の指定について
- 11 議案第 7 0 号 指定管理者の指定について
- 議案第 7 1 号 指定管理者の指定について
- 議案第 7 2 号 指定管理者の指定について
- 議案第 7 3 号 指定管理者の指定について
- 12 議案第 7 4 号 防府市国民健康保険条例中改正について
- 13 議案第 7 5 号 防府市と畜場設置及び管理条例中改正について
- 14 議案第 7 6 号 防府市工場等設置奨励条例中改正について
- 15 議案第 7 7 号 防府市道路占用料徴収条例中改正について
- 16 議案第 7 8 号 防府市奨学資金貸付条例中改正について
- 17 議案第 7 9 号 防府市火災予防条例中改正について
- 18 議案第 8 0 号 令和 2 年度防府市一般会計補正予算（第 5 号）
- 19 議案第 8 1 号 令和 2 年度防府市競輪事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 議案第 8 2 号 令和 2 年度防府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 議案第 8 3 号 令和 2 年度防府市駐車場事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 議案第 8 4 号 令和 2 年度防府市交通災害共済事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 議案第 8 5 号 令和 2 年度防府市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）

○本日の会議に付した事件

目次に記載したとおり

○出席議員（24名）

1番	橋本龍太郎君	2番	牛見航君
3番	梅本洋平君	4番	河村孝君
6番	和田敏明君	7番	今津誠一君
8番	村木正弘君	9番	久保潤爾君
10番	吉村祐太郎君	11番	曾我好則君
12番	宇多村史朗君	13番	藤村こずえ君
14番	青木明夫君	15番	田中敏靖君
16番	松村学君	17番	高砂朋子君
18番	山田耕治君	19番	三原昭治君
20番	田中健次君	21番	森重豊君
22番	石田卓成君	23番	安村政治君
24番	河杉憲二君	25番	上田和夫君

○欠席議員（1名）

5番 山本久江君

○説明のため出席した者

市長	池田豊君	副市長	森重豊君
教育長	江山稔君	代表監査委員	末吉正幸君
上下水道事業管理者	河内政昭君	総務部長	伊豆利裕君
総務部理事	石丸泰三君	人事課長	宮本松典君
総合政策部長	小野浩誠君	地域交流部長	島田文也君
生活環境部長	原田みゆき君	健康福祉部長	藤井隆君
産業振興部長	熊野博之君	土木都市建設部長	友景康浩君
土木都市建設部理事	入江裕司君	入札検査室長	森田俊治君
会計管理者	小阪一人君	農業委員会事務局長	内田健彦君

監査委員事務局長 野村利明君 選挙管理委員会事務局長 福江博文君
消 防 長 田 中 洋 君 教 育 部 長 能 野 英 人 君

○事務局職員出席者

議 会 事 務 局 長 河 田 和 彦 君 議 会 事 務 局 次 長 廣 中 敬 子 君

午前10時 開会

○議長（上田 和夫君） ただいまから令和2年第6回防府市議会定例会を開会いたします。

定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

欠席の届出のありました議員は、山本議員であります。

会期の決定

○議長（上田 和夫君） 会期についてお諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から12月22日までの15日間としたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、今期定例会の会期は本日から12月22日までの15日間と決定いたしました。

議事日程につきましては、お手元に配付しております日程に基づいて進行したいと思いますので、よろしく御協力のほどお願いいたします。

議席の変更

○議長（上田 和夫君） 議席の変更を議題といたします。

さきの議会運営委員会において議席の変更についてお諮りし、決定を見ましたので、議席番号及び氏名を局長から報告いたさせます。

○議会事務局長（河田 和彦君） それでは、御報告申し上げます。

1 番	橋 本 議 員	2 番	牛 見 議 員
3 番	梅 本 議 員	4 番	河 村 議 員
5 番	山 本 議 員	6 番	和 田 議 員
7 番	今 津 議 員	8 番	村 木 議 員
9 番	久 保 議 員	10 番	吉 村 議 員

11番	曾我議員	12番	宇多村議員
13番	藤村議員	14番	青木議員
15番	田中敏靖議員	16番	松村議員
17番	高砂議員	18番	山田議員
19番	三原議員	20番	田中健次議員
21番	森重議員	22番	石田議員
23番	安村議員	24番	河杉議員
25番	上田議長		

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） それでは、恐れ入りますが、ただいま決定しました議席にそれぞれ荷物を持って移動していただきますようお願いいたします。

暫時休憩とします。

午前10時 2分 休憩

午前10時 3分 開議

○議長（上田 和夫君） 休憩を閉じて、会議を再開いたします。

会議録署名議員の指名

○議長（上田 和夫君） 本日の会議録署名議員を御指名申し上げます。3番、梅本議員、4番、河村議員、御兩名にお願い申し上げます。

市長行政報告

○議長（上田 和夫君） これより、市長の行政報告を受けます。市長。

〔市長 池田 豊君 登壇〕

○市長（池田 豊君） 令和2年第6回市議会定例会に当たり、3つの項目について行政報告をさせていただきます。

このたびの議会は、改選後の新しい防府市議会にとって初めての定例会となります。改めまして、さきの選挙におきまして見事当選の榮譽に浴された皆様方に、心からお祝いを申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症対策について御報告申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、全国的に新規感染者数が大幅に増加しており、県内における感染者数も先月から急増し、連日感染者が確認されております。その累

計感染者数は400人を超え、本市におきましても、昨日までに18人の感染者が出ている状況でございます。

本市におきましては、これまでも様々な感染症対策を講じており、この9月からはPCR検査の必要な市民の方が迅速かつスムーズに検査を受けられますよう、休日診療所に地域外来・検査センターを開設しているところでございます。

こうした中、コロナ禍の中でさらなる体制の強化を図るため、不安をお持ちの高齢者や基礎疾患のある方が市内でPCR検査等を受診できる体制を整備することとし、このたびの補正予算で必要な経費を計上いたしております。

また本年度、他市に先駆けていち早く導入を進めております市内小・中学校の全ての児童・生徒への1人1台タブレット端末の配備につきましては、小学校6年生と中学校3年生の配備を完了し、今月から授業での活用を開始いたしました。これにより、必要な場合には自宅において学習できる環境が整備されました。

また、これまで経済対策として様々な経済活性化事業に取り組んでまいりましたが、このたび、これまで講じてきた中小企業者対策に続き、今後の消費が落ち込む時期に向けた対策として、防府商工会議所と一体となり、第2弾となるプレミアム付商品券発行事業や中小企業者等が行う新たな雇用を伴う投資を支援する事業等に取り組むこととし、必要な補正予算を計上しております。

さらに、防府が元気を取り戻せるようしっかりと感染症対策を講じた上で、11月1日には防府観光コンベンション協会と一体となって、「すごいぞ！防府秋の大イベント」を開催いたしました。また、全国各地のマラソン大会が中止や延期とされる中、12月20日の第51回防府読売マラソン大会の開催に向け、新型コロナ対策に万全を期して、その準備を進めているところでございます。

なお、コロナ禍の中、トビイロウンカの大量発生等に伴い甚大な被害を受けた水稻農家に対し、生産意欲を喚起するため、緊急的に、次期作に向けた食用米の種子購入費用を支援することとし、必要な補正予算も計上いたしております。

次に、総合計画について御報告いたします。

令和の時代に燦然と輝く防府のまちづくりを進めるための新しい総合計画として、具体的で分かりやすく、そして実行性のある計画となるよう策定を進めているところでございます。

去る12月3日には、明るく豊かで健やかな防府創出会議において計画の素案をお示しし、多くの貴重な御意見を頂戴いたしました。いただいた御意見を参考に修正を加え、議員の皆様説明をさせていただいた後、パブリックコメントを行った上で3月の議会にお

諮りすることといたしております。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の影響により市税等の大幅な減収が見込まれ、令和3年度の予算は過去に例のない非常に厳しい状況下での編成作業を余儀なくされます。そのような中であっても、新しい総合計画の初年度として、その第一歩をしっかりと踏み出さなければなりません。加えて、収束の見えない新型コロナウイルス感染症を乗り越えるための対策を、併せてしっかりと講じていく必要がございます。私のこれまでの経験を最大限に生かし、先頭に立って、新しい総合計画にふさわしい新年度予算を編成し、明るく豊かで健やかな防府の実現に向けた取組を進めてまいりたいと存じます。

最後に、新庁舎建設について御報告申し上げます。

新庁舎建設につきましては、令和6年度中の供用開始を目指して、議員の皆様のご協力の下、ここまで順調に進めてきております。現在、実施設計を進めており、本年度末には実施設計が完了する予定でございます。

来年度には解体工事をはじめとする本体工事にいよいよ着手いたします。新年度早々には庁舎の一部を解体してまいりますことから、その準備として11月から土木都市建設部の道路課、河川港湾課、都市計画課の3課が県の総合庁舎に移転し、事務を開始しております。

なお、円滑に工事を進めるため、このたびの補正予算で解体工事に係る債務負担行為を設定いたしております。

市民の皆様、議員の皆様には御迷惑をおかけすることになりますが、しっかりと対策を講じながら、市民の皆様から愛される庁舎、そしていざというときに防災拠点として市民の皆様の安全を守る庁舎を造ってまいりますので、引き続き御理解と御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症との闘いが長期化しております。私は、市民の皆様、議員の皆様と一緒にこの難局を乗り越えてまいりたいと考えております。市民の代表である議員の皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

以上、御報告をさせていただきます。よろしく願いいたします。

○議長（上田 和夫君） ただいまの行政報告に対する質問につきましては、一般質問に含めてお願いしたいと思います。

したがいまして、この質問の要旨は、本日の午後5時までに御提出いただきますようお願い申し上げます。

選任第6号防府市監査委員の選任について

○議長（上田 和夫君） 選任第6号を議題といたします。

本件につきましては、田中敏靖議員の一身上に関する事件と認められますので、地方自治法第117条の規定により田中敏靖議員の退席を求めます。

〔15番 田中 敏靖君 退席〕

○議長（上田 和夫君） 理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 池田 豊君 登壇〕

○市長（池田 豊君） 選任第6号防府市監査委員の選任について御説明申し上げます。

市議会議員のうちから選任しておりました監査委員の任期が、去る11月26日をもって満了となりました。そのため、新たに田中敏靖議員を委員としてお願いするものでございます。

よろしく御審議の上、御同意を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（上田 和夫君） 本件に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 質疑を終結して、お諮りいたします。本件については、委員会付託を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 討論を終結して、お諮りいたします。本件については、これに同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、選任第6号については、これに同意することに決しました。

ここで、辞令交付のため暫時休憩といたします。

午前10時13分 休憩

午前10時15分 開議

○議長（上田 和夫君） 休憩を閉じて、会議を再開いたします。

ただいま、防府市監査委員に就任されました田中敏靖議員の就任の挨拶を受けます。

〔監査委員 田中 敏靖君 登壇〕

○15番（田中 敏靖君） おはようございます。先ほど監査委員に選任いただきました田中敏靖でございます。就任に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

その職務の重要性に身の引き締まる思いがいたします。地方自治における監査の重要性をよく認識し、法の精神にのっとり、今後、微力ながら誠実に公正に職務を遂行してまいりたいと考えております。

何とぞよろしく御支援を賜りますようお願いを申し上げ、簡単ではございますが御挨拶とさせていただきます。よろしくようお願い申し上げます。（拍手）

選任第7号防府市教育委員会委員の選任について

○議長（上田 和夫君） 選任第7号を議題といたします。

理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 池田 豊君 登壇〕

○市長（池田 豊君） 選任第7号防府市教育委員会委員の選任について御説明申し上げます。

本案は、防府市教育委員会委員のうち小松宗介氏が来たる12月18日をもって任期満了となりますので、引き続き委員としてお願いするものでございます。

よろしく御審議の上、御同意を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（上田 和夫君） 本件に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 質疑を終結して、お諮りいたします。本件については、委員会付託を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 討論を終結して、お諮りいたします。本件については、これに同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、選任第7号につきましては、これに同意することに決しました。

この際、防府市教育委員会委員に選任されました小松宗介氏の御挨拶を受けます。

〔教育委員会委員 小松 宗介君 登壇〕

○教育委員会委員（小松 宗介君） 皆さん、おはようございます。このたび、教育委員再任の御承認を賜りました小松宗介と申します。引き続き、防府市の教育行政に携わることになりましたことを心より感謝申し上げます。

今日まで3期12年間、私なりの教育委員としての義務と責任を担いながら何とかやっ
てまいりました。これからも、地域、学校、家庭の結びつきを推進し、我がまち防府の未
来づくりに微力ではございますが貢献できたらと考えております。

最後になりますが、今後とも皆様方にはより一層の御指導、御鞭撻のほどお願い申し上
げまして、甚だ簡単ではございますが、私の再任の御挨拶とさせていただきます。

本日はこのような機会を与えていただきまして、本当にありがとうございました。（拍
手）

選任第8号防府市固定資産評価審査委員会委員の選任について

○議長（上田 和夫君） 選任第8号を議題といたします。

理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 池田 豊君 登壇〕

○市長（池田 豊君） 選任第8号防府市固定資産評価審査委員会委員の選任について
御説明申し上げます。

本案は、防府市固定資産評価審査委員会委員のうち、村武俊宏氏、福田昭二郎氏、林俊
男氏が、来る12月18日をもって任期満了となりますので、委員の選任についてお願い
するものでございます。

村武委員につきましては平成20年2月から、福田委員につきましては平成23年
12月から本市の固定資産評価審査委員会委員として御尽力をいただきました。今日まで
の御労苦に対し、深く感謝の意を表する次第でございます。

林委員につきましては、引き続き委員としてお願いするとともに、新たに藤井克彦氏、
松永敏昭氏を委員としてお願いするものでございます。

よろしく御審議の上、御同意を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（上田 和夫君） 本件に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 質疑を終結して、お諮りいたします。本件については、委員会
付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 討論を終結して、お諮りいたします。本件については、これに
同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、選任第8号については、これに同意することに決しました。

報告第33号有限会社野島海運の経営状況報告について

○議長（上田 和夫君） 報告第33号を議題といたします。

理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 池田 豊君 登壇〕

○市長（池田 豊君） 報告第33号有限会社野島海運の経営状況報告について御説明申し上げます。

まず、令和元年10月1日から令和2年9月30日までを会計年度とする令和2年度の決算についてでございます。

お手元の事業報告書にお示ししておりますとおり、新たに予備船「レインボーのしま」の建造を行い、旧予備船「のしま」については売却し、その処分益を収入として計上いたしております。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、緊急事態宣言が行われた後、釣り客等のレジャー利用の乗船制限を行いました。その結果、本年4月及び5月の利用者数が例年と比べ約4割の減となり、運賃収入が減少しているところでございます。

次に、令和3年度の事業計画でございますが、野島住民の利便性を維持しながら海上旅客輸送の安全確保に努めてまいります。また、予備船「レインボーのしま」につきましては、収入拡大に向け積極的に活用してまいりたいと考えております。

以上、概要を御説明申し上げ、報告に代えさせていただきます。よろしく御願い申し上げます。

○議長（上田 和夫君） 本件に対する質疑を求めます。16番、松村議員。

○16番（松村 学君） 御説明ありがとうございました。

事業報告書の中で、先ほども市長のほうからありましたけど、「レインボーのしま」の予備船の収入拡大に向けてやっていくということで、以前からもクルージング等いろいろ手を打っていくということで、取組についてはいろいろ聞いておったんですが、昨年とまた今年、コロナもありましたけども、実際どうだったのかということと、今、用船事業についても、例年どおりなされておるのか。

それと、もう一点は、今年度の決算が実際2,907万5,250円運賃が上がっておりますけども、これは昨年と比較してコロナの影響はどうだったのか。そして、この令和

3年度におきましては、2,819万5,600円という微減になっていますけども、まだまだ影響があるんじゃないかと思えますけど、その辺りの御見解をちょっとお尋ねしたいと思えます。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） 御質問にお答えいたします。

まず、クルーズでございますが、議員御案内のとおり、コロナの関係で、今年の2月に「レインボーのしま」は就航したんでございますが、クルーズに関しては、今年度まだ手がつけておられないという状況でございます。コロナが収まり次第、準備のほうは着々と進めておるところでございます。

それと、用船についてでございますが、これは旧予備船「のしま」、これと「レインボーのしま」、この2隻において用船はやっております。決算で申しますと、20ページの海運業収益（2）の貸船料ということで707万650円、ここに上げております。

それと、運賃収入でございますが、昨年度と今年度、確かにコロナの関係で今年の4月、5月、ここは釣り客を渡船させないという措置を取りました。しかしながら、市長の答弁にもございましたが、約4割減となっておりますが、徐々に回復はしております。昨年と比較しましても、大体95%ぐらいの決算になるかなというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） ほかにございせんか。よろしいですか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 以上で、報告第33号を終わります。

議案第69号指定管理者の指定について

○議長（上田 和夫君） 議案第69号を議題といたします。

本案、指定管理者の指定のうち、佐波老人憩の家については、田中健次議員の一身上に関する事件と認められますので、地方自治法第117条の規定により、田中健次議員の退席を求めます。

〔20番 田中 健次君 退席〕

○議長（上田 和夫君） 理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 池田 豊君 登壇〕

○市長（池田 豊君） 議案第69号指定管理者の指定について御説明いたします。

本案は、防府市上右田老人憩の家ほか14か所の老人憩の家に係る指定管理者の指定期間が令和3年3月31日をもって満了となりますので、指定管理者の再指定を行おうとす

るものでございます。

指定管理者を選定するに当たりましては、指定管理者選定委員会において公募によることなく選定することとし、提案価格と提案内容について審査を行っております。この審査の結果を踏まえ、防府市小野老人憩の家につきましては令和3年4月からの2年間、その他14か所の老人憩の家につきましては令和3年4月1日からの5年間について、各地区の老人憩の家運営委員会を指定候補者として選定したものでございます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（上田 和夫君） あらかじめ、本案の審議について申し上げます。

初めに、佐波老人憩の家の指定管理者に対する質疑及び採決を行います。

その後、田中健次議員に入場いただき、残り14施設の指定管理者について審議をいたします。

それでは、佐波老人憩の家の指定管理者に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 質疑を終結して、お諮りいたします。佐波老人憩の家の指定管理者については、委員会付託を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 討論を終結して、お諮りいたします。議案第69号中、佐波老人憩の家の指定管理者については、原案のとおりこれを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、佐波老人憩の家の指定管理者については、原案のとおり可決されました。

〔20番 田中 健次君 入場〕

○議長（上田 和夫君） 次に、議案第69号中、佐波老人憩の家を除く上右田老人憩の家ほか13施設の指定管理者に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 質疑を終結して、お諮りいたします。上右田老人憩の家ほか13施設の指定管理者については、委員会付託を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 討論を終結して、お諮りいたします。上右田老人憩の家ほか13施設の指定管理者については、原案のとおりこれを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、上右田老人憩の家ほか13施設の指定管理者については、原案のとおり可決されました。

議案第70号指定管理者の指定について

議案第71号指定管理者の指定について

議案第72号指定管理者の指定について

議案第73号指定管理者の指定について

○議長（上田 和夫君） 議案第70号から議案第73号までの4議案を一括議題といたします。

理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 池田 豊君 登壇〕

○市長（池田 豊君） 議案第70号から議案第73号までの4議案について、一括して御説明申し上げます。

これら4議案は、防府市サイクリングターミナル、防府市公会堂ほか3施設、山頭火ふるさと館及び防府市立防府図書館につきまして、指定管理者の指定期間が令和3年3月31日をもって満了となりますことから、指定管理者の指定を行おうとするものでございます。

指定候補者を選定するに当たりましては、それぞれ指定候補者選定委員会において、議案第70号及び議案第72号につきましては公募の上、議案第71号及び議案第73号につきましては、施設の管理の状況及び業務の内容等から公募によることなく選定することとし、提案価格と提案内容について審査を行っております。

これらの審査の結果を踏まえ、議案第70号の防府市サイクリングターミナルにつきましては、令和3年4月からの3年間について一般社団法人育伸会メンテナンス防府を、議案第72号の山頭火ふるさと館につきましては、令和3年4月からの5年間について、一般社団法人防府観光コンベンション協会を、議案第71号の防府市公会堂ほか3施設及び議案第73号の防府市立防府図書館につきましては、令和3年4月からの5年間について

公益財団法人防府市文化振興財団をそれぞれ指定候補者として選定したものでございます。

よろしく御審議のほど、お願いを申し上げます。

○議長（上田 和夫君） ただいまの補足説明に対し、これより質疑に入ります。

まず、議案第70号に対する質疑を求めます。9番、久保議員。

○9番（久保 潤爾君） 今、市長の説明の中で公募によるということでしたが、これ、公募されて何事業者というんですか、何者ぐらい応募があったんでしょうか。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） 2者でございます。

○議長（上田 和夫君） 9番、久保議員。

○9番（久保 潤爾君） 2者ということで、この育伸会メンテナンス防府を選ばれたということになるんですけど、議案書見ると、令和2年9月1日設立ということで、設立間もないということで、事業内容は一応書いてあるんですが、まだ実績もないんじゃないかと思われるんですが、これが指定管理者となった経緯といいますか、その辺りをもう少し説明していただけますか。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） 確かに、議案に書いてあるとおり今年の9月1日の設立というふうになっております。

この育伸会メンテナンス防府でございますが、会社そのものから申しますと立ち上がったばかりではございます。実際に、その能力というかその辺を測るにはまだ時期尚早という気はいたしております。

しかしながら、公共施設を指定管理というふうにいたしますので、その辺り、会社組織としてどんなものかというふうにはちょっと調べております。その辺りちょっとお話をさせていただきたいと思っております。

実際には、スタッフとして司法書士とか税理士とか社労士とかその辺りそろえておりますので、会社としては十分組織的に成り立っておるものと、そういうふうに認識しております。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） 9番、久保議員。

○9番（久保 潤爾君） 組織としてはしっかりしているということで今御説明いただきました。ただ、実績がない、未知数な感じはするんですけど。

差し支えなければ、もう一者というのはどういった内容の事業者が応募してきたんでしょうか。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） 実際には、サイクリングターミナルはほとんど旅館業が主な業務になりますが、こちらも旅館業に関して全く経験のない会社でございました。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） ほかにございますか。7番、今津議員。

○7番（今津 誠一君） このサイクリングターミナルは、これまでも経営が厳しいということで、非常に苦勞してきた組織であります。そういう中であって、今この一般社団法人育伸会メンテナンス防府というところが指定管理者になるということなんですけども、その組織の概要をお聞きすると、司法書士さんとかおられるということなんですけども、問題は、経営能力が問われるわけですよ。そういう面で果たして大丈夫なのかということところが非常にちょっと危惧される場所なんですけども。その辺で、恐らくそちらもその辺を当然心配をしておるだろうと思うんですけども、今後、状況を見ながら本当にやっていけるのかどうなのかということも、ちゃんと確認、見ていかなきゃならないと思うんですけども、その辺について、これ何年間の契約ですか。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） 今津議員の御心配もごもっともだと思っております。

実際、先ほど申しましたが、司法書士とか税理士とか、その辺スタッフとしておりますので、組織的には大丈夫だろうと。そして、前回は、共立メンテナンスが平成26年からやりましたけど、このときは5年間でやりました。しかしながら、このたびはちょっと短めというか、3年間の契約ということでお願いしておるところでございます。

○議長（上田 和夫君） 7番、今津議員。

○7番（今津 誠一君） 3年間ということなんですけども、状況をよく見ながら、その辺のところはうまく対処して行ってほしいというふうにお願いをしておきます。

○議長（上田 和夫君） 19番、三原議員。

○19番（三原 昭治君） まず、候補者の選定に当たり、どのような方法で、入札といえますか、方法を取られたのか、教えてください。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） プロポーザルによる事業計画でヒアリングを行っております。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） 19番、三原議員。

○19番（三原 昭治君） 選考に当たっての選考委員会のメンバーを教えてください。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） お答えいたします。

学識経験者、商工会議所、コンベンション協会、市民活動団体、それに市職員が2名、以上6名でございます。

○議長（上田 和夫君） 19番、三原議員。

○19番（三原 昭治君） 先ほど、旅館業が主ということでしたが、今の構成メンバーでそういう関連する業種の方が何人いらっしゃるか。学識経験者というのは、どういう方のなのか。

それと、先ほど指定管理期間が通常5年ということで、前回は5年でしたが、今回3年にされたら、その理由は何ですか、教えてください。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） 学識経験者でございますが、これは社会教育委員でございます。

それと、5年から3年にしたという理由でございますが、3年間というまず短いスパンで判断をしたいというふうな経緯から3年にいたしました。

以上でございます。（発言する者あり）

旅館業は、この委員の中にはおりません。

会社としては、共立メンテナンスがスタッフとして雇っておった10名、この方を、御本人の雇用をされるかどうかその辺は面接の上でございますが、これを継続雇用する、その方向でやるというふうに聞いております。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） 19番、三原議員。

○19番（三原 昭治君） スタッフとして10人残すということですけど、ほとんどの方というか、全員が営業的には関係ない方、事務とか清掃とかそういう関係だと思えます。

それで、9月1日に設立したばかりということで、プロポーザルで選定を行われたら。これ、プロポーザルでこの会社に決めた理由、そして運営に関する提案はどんな内容だったのか、教えてください。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） お答えいたします。

実際、2者御応募ございました。その中でこちらのほうに決定したという。実際、旅館業の運営そのものは共立メンテナンスの元スタッフがおりますので、今現在直営でやっておるこの2か年で何ら問題なくやっておりました。それをそのまま引き継ぐということで、

運営そのものに関しては大丈夫なんだろうなというふうには考えております。

それと、プロポーザルをしたというその経緯でございますが、実際にこの2者の比較の中で、両方とも防府の会社でございました。やはり決め手になった部分というのは、代表者が元消防職員ということで、危機管理とかそういったものにはたけておるという方と、あと食事提供ができるというふう聞いております。そこは、やはりこの会社に決まった一番の大きな部分ではなかるまあかなと、そういうふうに思っております。

以上でございます。（発言する者あり）

申し訳ございません。提案内容といたしましては、この育伸会メンテナンス防府の青少年健全育成、そのことに一番の重きを置いて研修と宿泊とそういったことをしていきたいということが主なものでございました。

○議長（上田 和夫君） ほかにございますか。20番、田中健次議員。

○20番（田中 健次君） 私が質問の項目として考えていたことは3名の議員さんからかなり質疑という形でされましたけれども、ちょっと確認の意味で改めてお聞きするようなことになるかもしれませんが、選定の決定までの経緯として、スケジュール的に、市のほうが公募を公表したというのか、それがいつだったのか。それから、当然申請に基づいて選定委員会で決定をしたわけですが、その選定委員会で決定した日がいつであったのか、ちょっとこれをまず明らかにしていただきたいと思います。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） 選定までの経緯ということでございますが、今年の6月29日に、これがまず第1回の選定委員会の開催でございます。その後、今年の7月1日に募集要項配布開始、9月7日に申請書の受付開始、これが9月25日まででございます。実際ヒアリングは10月20日に開催しております。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） 20番、田中健次議員。

○20番（田中 健次君） 今のスケジュールに合わせるような形で9月1日に当該団体が結成されたということになりますと、先ほどからいろいろ心配ということも、私もあるわけであります。

それで、市のホームページ見ると、このサイクリングターミナル指定候補者審査結果というのが公表されております。それで、審査項目として1から5、1が事業計画書等の内容について、管理運営の基本的事項が適切であるか。2が事業計画書等の内容について、当該公の施設の効用を安全で最大限に発揮させるものであるか。これは、1が基本的事項、2が安全性というのか。それから、3が収支予算書等の内容について、管理運営に係る経

費の縮減が図られるものであるか。これは、経費の問題です。４番目に、事業計画書等の内容について、管理運営を安定して行うために必要な人員及び財政的な基礎を有しているかという、そういった財政的な基礎を組織としてきちっとしているかという点だと思います。５が個人情報の保護及び管理業務に関して保有する情報の公開について、必要な措置が講じられているかと。この５項目について審査をされて、それぞれ配点が１００点を超えるものもありますし、５０点以下でそこを配点しているというのものもあるんだと思うんですが。

A者と今回指定管理になります育伸会メンテナンス防府の得点を見ると４１８と３７４ということで、２つについては同じ数字、ほかの３つについてはこの会社が上回っているということで、行政的にはそれなりにきちっと審査をされたんだろということがこの中で分かるわけでありまして。

やはり、９月１日に設立というところで、３年間ということで、５年ではなくて３年にしたということもあります。これが、もし途中で――モニターだとかそういう形でチェックしていくわけですが、モニターという形で。それで、これがやはり問題があった場合には、例えば途中で契約を打ち切るだとか、あるいは以前のように直営に戻すだとか、あるいは今回次点というのか、代替りの業者がおらなければA者をお願いするとか、そういったことも検討しておかなければならないと思うんですが、その辺についてはどういうふうな考えでしょうか。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） ただいま質問ございました件に関しましては、まずは防府に事業所を持っておる会社です。実際には、仮にといいますか、東京のほうに住所があつて今年できたとかいう会社ではございません。そこに行けば会社の実態も分かりますし、そういうふうな指導なりそういうことも可能であるというふうに考えておりますので、この３年間きっちりとやっていただけたらなというふうには考えております。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） よろしいですか。ほかにはございますか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） それでは、以上で議案第７０号に対する質疑を終わります。

次に、議案第７１号に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 以上で、議案第７１号に対する質疑を終わります。

次に、議案第７２号に対する質疑を求めます。２０番、田中健次議員。

○20番（田中 健次君） 議案第72号に関する指定管理の選定については、市長名で11月18日に、選挙が終わって間がない頃ですけれども、市議員宛てに文化・スポーツ課所管の公の施設及び山頭火ふるさと館の指定候補者の選定についてという文書で選定の経過が示されております。

それによりますと、先ほどお話があったように、公募という形ですが、応募されたのは1つだけ、1者だけあります。それで、途中の経過を見ましても、現地説明会に来られたのも1つだけということであります。

ところが、山頭火ふるさと館はこれまで文化振興財団が指定管理者であったわけで、それに今度新たに観光コンベンション協会が出てきて指定管理を受けるということになると、非常に奇異な感じを受けるわけです。なぜ、今まで指定管理であった団体が今回、現地説明会にも来なくて、それから応募しなかったのか。そして、これまで山頭火ふるさと館に直接関係がなかった観光コンベンション協会がなぜ今回、現地説明会に来てこういう形で応募するのか。

これは、つまり、防府市の内部でこれまでの山頭火ふるさと館は文学館的な文化施設であったわけでありましたが、これを観光施設という位置づけに変えるということではないかと思うんですが。そういった位置づけの変更、これがあったのではないかという気がするんですが、この辺の経緯について、ちょっともう少し説明をお願いしたいと思います。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） その公募に至った経緯というか、観光コンベンションになった経緯と申しますか、それは、実際この山頭火ふるさと館が議会に承認されて建設に至るときの説明の中で、年間5万人の来場者を目標とするというのが、まずこれ一つございました。実際、選定委員会を開きまして、その際、実際の入場者数を事務局のほうが表示し、それが2万5,000人以下であったということで、いま一度、その中で委員の方から御意見として、実際には山頭火ふるさと館については、現在特色のある企画展等そういった事業を展開されておられます。その努力に応じて入館者も増加傾向にあると思われませんが、それを飛躍してより多くの入場者を増やすには少し変化も必要ではないかと感じると意見もございまして、立地条件をもっと生かしてさらに入館を促して、その役割等で交流を促すといったことも必要、そういうことによってたくさんの人に山頭火を知ってもらう、そういうことも必要ではないか。もちろん、もう一つの意見としては、今の文化施設としての役割も十分に担保すること、そういった御意見の中で、実際いろんな御意見を踏まえまして、公募としてもっと広く門戸を広げて民間等の団体から応募を募ることと決定したわけでございます。

その結果、観光コンベンション協会が応募されたということになっております。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） 20番、田中健次議員。

○20番（田中 健次君） 2つの団体が両方とも市の補助金を受けている団体で、片方は特に6月議会で財政状況の報告などを受ける団体であるわけですが、2つの団体が応募をして、それで先ほどのA者と育伸会のような形で点数をつけて比較するというのであれば、それはまだ多少理解はできるわけですが。ある意味では、文化振興財団のほうは、これは手を挙げられなかったというのか、そういう形の公募の条件にしたのではないかというふうに思うわけです。片方は公益財団法人、片方は一般社団法人と、そこに少しハードルを上げるような形で、公益財団法人では参加しにくいような条件をつけておるような気がするわけですが、その点についてはどうでしょうか。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） 先ほど冒頭で申し上げました年間5万人の入場者数を目指す、目標といたすと、そういったことで御承認いただいております。立地条件等その辺りも踏まえまして、十分可能な数ではなかるまあかなというふうに考えております。

ちょっと先ほどの質問の中で抜けておりましたが、財団がなぜ手を挙げなかったかということですが、これは理事会のほうでこの指定管理の応募には参加しないというふうに決議されておられます。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） 20番、田中健次議員。

○20番（田中 健次君） だから、理事会でそういう決定をせざるを得なかったような形で公募の条件がされたのか、あるいは市のほうがこれを文化施設から観光施設に変えていくんだという決定が内部でされて、そういう意志が財団だとか観光コンベンション協会に伝えられて、今回のような経緯になっているのではないかと思うわけで。その辺について、ただ入場者を5万人にする云々だけの話ではないような気がするんですけども。

市の観光政策だとか文化政策に関わる問題でありますので、そこについて市の内部でどういふ議論があったのか。それは選定委員さんがただ入場者を増やすために云々という話だけに尽きることはないように思いますので、この辺についてもう一度明確に、執行部の内部で協議したことがあるのであれば、ちょっとそれを明確に示していただかないと困ると思うんですが、どうしてこういうふうになったのか。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） 市の内部では、そこについては協議はしておりません。あくまで指定管理者選定委員会の中での委員さんの御意見、それを尊重いたしまして、そういうふうに決めております。

それと、先ほど田中議員の質問でちょっと誤解があるかもしれませんが、文化施設から観光施設に切り替わるというのではございません。文化施設に観光をプラスさせると、そしてより山頭火を知ってもらう施設にしていくと、そういうふうな考えでやっております。以上でございます。

○議長（上田 和夫君） 20番、田中健次議員。

○20番（田中 健次君） 私が思い違いしておったかもしれませんが、そうすると、これは引き続いて文化・スポーツ課が新年度も所管をすると、文化施設に観光的なものをプラスするというのであれば、基本的にそういう形になるわけでしょうか。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） いえ、あくまで観光コンベンション協会が指定管理者ということになれば、おもてなし観光課のほうに所管替えということになります。

申し訳ございません、所管そのものは文化・スポーツ課そのままでございます。ただ、予算的なものとしては観光コンベンション協会でございますので、おもてなし観光課のほうで予算は持つという形になります。

○議長（上田 和夫君） 6番、和田議員。

○6番（和田 敏明君） 私も、この山頭火ふるさと館については、いわゆる生涯学習施設としての機能の役割が主だというふうに思っております、以前、来館者数5万人を目指すと言ったときに、ちょっとそれは言い過ぎじゃないかという提言もしたこともあったんですが。

その部分、いわゆる生涯学習施設としての機能というのはきちんと担保された上で、さらに、今、観光コンベンション協会さんは防府市全体として観光をしっかりと推進されていると思うんですが、そこにもう一つ抜きん出る何かを入れたいというような形でよろしいですか。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） あくまで、今、学芸員等、そして企画展や講座等の実施は、これは仕様書の中にうたっておりますので、その辺りは確実に担保されておるものというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） 16番、松村議員。

○16番（松村 学君） 私は、これについては、今、とにかく5万人ということが出ました。これ、実は当時すごい議会でもかなり疑義がありまして、私らも正直反対させていただいた経緯もあります。

しかし、もう造ってしまったわけで、そしてこの施設を有効活用したいと、市長もいろいろと手を打たれておりますし、さらに今回はこの観光コンベンション協会がやるということで、文化振興も当然ありながらも、さらに観光振興でまた人をとんと増やしていくと。

これ、市民の皆さんの評価は、誰もいないねと、平常時は誰もいないと、もうこの声一つなんです。ですから、私としても、今回のこれはまさに起死回生の一発につながればいいなというふうに評価をいたしております。

一応お聞きしたいのは、今回これをするに当たって、何か水面下でこういった事業を、こういった人を入れていくような事業をやろうかというような話がもしあるのであれば教えていただきたいなと思いますし、ないのであれば、ぜひとも頑張ってください。もうその一点につきまますので、よろしく願いいたします。あれば、御答弁ください。

○議長（上田 和夫君） 地域交流部長。

○地域交流部長（島田 文也君） まだ議案が通っておらない状況なので、その施策については申し上げることはできないかというふうに思っておりますが、議員御案内のとおり期待感の持てるようなそういうふうな施設になればなというふうには思っております。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） ほか、よろしいですか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 以上で、議案第72号に対する質疑を終わります。

次に、議案第73号に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 質疑を終結して、お諮りいたします。ただいま議題となっております4議案については、委員会付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、一括して討論を求めます。20番、田中健次議員。

○20番（田中 健次君） 4議案とも賛成をいたしますが、少し討論をさせていただきたいと思います。

70号のサイクリングターミナルについては、質疑の中で心配をする声がたくさんあったわけでありましてけれども、執行部のそれなりの調査だとかそういうことの御答弁、そし

て市内にある業者であるからそれなりの指導ができると、そういうことを信頼して賛成をしたいと思います。

それから、山頭火ふるさと館については、これはやっぱりあくまで観光施設ではなくて文化施設だと、それに観光的な意味合いで集客を図ると、来場者を増やすということでありますので、そういうことであれば、特に異議なく賛成をいたしますが、これまでの文化事業、講座だとかそういったものについては必ずやっていただくということを要望しておきたいと思います。

あとの71号と73号については、格別申し上げることなく賛成をいたします。

○議長（上田 和夫君） 19番、三原議員。

○19番（三原 昭治君） 議案第70号防府市サイクリングターミナルの指定管理者について、賛成の討論をいたします。

防府市サイクリングターミナルは、約40年間にわたり直営、委託によって運営されてきましたが、いずれも赤字経営が続いています。また、前指定管理者は上場企業の共立メンテナンスでありましたが、5年間で2,000万円の赤字を出す結果となりました。したがって、住民の福祉の向上等の目的も十分果たせていない状況と言えます。

また、今回の指定管理者は9月1日に設立、前任の共立メンテナンスから引き続き残るスタッフも事務職が中心であり、さらに選考に当たり選考者にも旅館業に関連する委員がいなかったということで、大変不満を抱いております。

これらから、指定管理期間3年間の終了後には、その実績、結果を十分検証され、存廃を含めた検討をされることを要望し、討論といたします。

○議長（上田 和夫君） ほかにございますか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 討論を終結して、お諮りいたします。ただいま議題となっております4議案については、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第70号から議案第73号までの4議案については、原案のとおり可決されました。

議案第74号防府市国民健康保険条例中改正について

○議長（上田 和夫君） 議案第74号を議題といたします。

理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 池田 豊君 登壇〕

○市長（池田 豊君） 議案第74号防府市国民健康保険条例中改正について、御説明申し上げます。

本案は、国民健康保険法施行令の改正に伴い、本市の国民健康保険条例について所要の改正を行おうとするものでございます。

改正の内容につきましては、税制改正に伴う給与所得控除等の額の見直しにより、給与所得等を有する者がいる世帯への国民健康保険料の負担水準に関し不利益が生じないように、国民健康保険法施行令の改正に準じて保険料の軽減措置に係る所得判定基準を調整するものでございます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（上田 和夫君） 本案に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 質疑を終結して、お諮りいたします。本案については、委員会付託を省略したいと思っておりますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 討論を終結して、お諮りいたします。本案については、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第74号につきましては、原案のとおり可決されました。

議案第75号防府市と畜場設置及び管理条例中改正について

○議長（上田 和夫君） 議案第75号を議題といたします。

理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 池田 豊君 登壇〕

○市長（池田 豊君） 議案第75号防府市と畜場設置及び管理条例中改正について、御説明申し上げます。

本案は、防府市と畜場のと畜の種別を見直し、及び使用料を改定しようとするものでございます。

改正の内容につきましては、と畜場事業の健全化を図るため、と畜の種別を牛のみに見直すとともに、使用料の引上げ等を行うものでございます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（上田 和夫君） 本案に対する質疑を求めます。20番、田中健次議員。

○20番（田中 健次君） 今回の条例改正というものは、懸案であったと畜場の特別会計、これが市からの持ち出しが大変大きいということで、それを改善するものとして評価をするわけではありますが、料金について、大幅な値上げになっておるわけであります。これについては、激変緩和措置という形で、令和3年度、4年度については金額を3分の1とか3分の2の金額にするわけではありますが、こういったことで利用業者さんとの関係、これについては一定の理解というのかそういうものが得られているのか、この辺、確認の意味でぜひお答え願いたいと思います。

○議長（上田 和夫君） 生活環境部長。

○生活環境部長（原田みゆき君） 御質問にお答えいたします。

このたびの料金改定につきましては、利用業者さんと協議を重ねた結果、こちらのほうの改定の額、それから激変緩和措置を講じるということに至りましたので、この内容での改定の運びとなりました。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） よろしいですか。ほかにございますか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 質疑を終結して、お諮りいたします。本案については、委員会付託を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 討論を終結して、お諮りいたします。本案については、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第75号につきましては、原案のとおり可決されました。

議案第76号防府市工場等設置奨励条例中改正について

○議長（上田 和夫君） 議案第76号を議題といたします。

理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 池田 豊君 登壇〕

○市長（池田 豊君） 議案第76号防府市工場等設置奨励条例中改正について、御説明申し上げます。

本案は、地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第25条の地方公共団体等を定める省令の改正に伴い、本市工場等設置奨励条例について所要の条文整備を行おうとするものでございます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（上田 和夫君） 本案に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 質疑を終結して、お諮りいたします。本案については、委員会付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 討論を終結して、お諮りいたします。本案については、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第76号については、原案のとおり可決されました。

議案第77号防府市道路占用料徴収条例中改正について

○議長（上田 和夫君） 議案第77号を議題といたします。

理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 池田 豊君 登壇〕

○市長（池田 豊君） 議案第77号防府市道路占用料徴収条例中改正について、御説明申し上げます。

本案は、国道及び県道の占用料の改定に伴い、所要の改正をしようとするものでございます。

内容につきましては、国道及び県道の占用料が改定されたことに伴い、本市の道路における占用料についてもこれらとの均衡を保つため、国道及び県道の占用料と同額とするものでございます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（上田 和夫君） 本案に対する質疑を求めます。7番、今津議員。

○7番（今津 誠一君） 簡単にお尋ねしますが、国のほうで国道及び県道の占用料が改正されたということに伴ってのことですが、これは国のほうでどういった理由で占用料が改定になったのか、その辺を説明してください。

○議長（上田 和夫君） 土木都市建設部長。

○土木都市建設部長（友景 康浩君） お答えいたします。

占用料の額の改正は、今般、平成30年度に行われた固定資産税評価額の評価替え、地価に対する賃料水準の変動等を反映した占用料の額を、国が令和2年4月から適用するため改正を行ったことにより、これらと均衡を保つため、このたびお諮りいたしているものでございます。

○議長（上田 和夫君） 7番、今津議員。

○7番（今津 誠一君） 今の説明では、固定資産税の評価額が上がったと、それから地価の評価も上がったと、こういうことでお聞きしましたけども、それでいいんでしょうか。

この時期に固定資産税評価額及び地価が上がった理由というのは、背景はどういうことなんでしょうか。非常に経済も低迷して、評価額が上がるということは、ちょっと疑問を感じる場所がありますけども、その辺をちょっと説明してください。

○議長（上田 和夫君） 土木都市建設部長。

○土木都市建設部長（友景 康浩君） ただいま理由ということで御質問ございましたが、これは道路法施行令の別表の中で、全国的にその占用の額が定められているものでございまして、それは特に理由というところで、今回条例にお諮りしているところではございません。

○議長（上田 和夫君） 土木都市建設部理事。

○土木都市建設部理事（入江 裕司君） 申し訳ございません。ちょっと説明が不足したようでございます。

国の改正は全国的なものでございまして、それに合わせて県が改正したことに伴い、同じ防府市にあります県道、市道、合わせて同額としたものでございます。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） 7番、今津議員。

○7番（今津 誠一君） ちょっと質問に答えられていないと思うんですけども。国の改正に合わせて上げたということですけども、国がその上げた理由はどういうことなんだろうかとということをお聞きしたわけです。さっき説明では、固定資産税の評価額とか地価が上がったからというふうなことだった、説明があったんですけども、そのことをちょっと説明を。

○議長（上田 和夫君） 土木都市建設部理事。

○土木都市建設部理事（入江 裕司君） 御質問にお答えいたします。

ちょっと説明が足らなかったかもしれませんが、国が占用料の改正を行いました。それについては、先ほど部長が申しましたように、理由としては占用料については固定資産税の評価とかそれらについて見直したことに伴いまして、当然、国が占用料を見直したことに伴いまして、先ほど今津議員が申されましたように、実態として防府市のほうの固定資産税はどうなのかということはございますが、県道も併せて見直しをしましたので、私も防府市も占用料を同額にさせてもらったものでございます。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） 7番、今津議員。

○7番（今津 誠一君） いや、防府市がどうこうではなしに、国全体で上がったということなんでしょう。それは、今の経済の実態からしてどうして上がるのかなというふうに素朴に疑問を感じるんだけど、その辺の実態を説明してもらいたい。

○議長（上田 和夫君） 土木都市建設部理事。

○土木都市建設部理事（入江 裕司君） 先ほども御答弁申しましたように、国においては全国的な地価上昇等を考慮して占用料を改正したものだと思われれます。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） ほかにありますか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 質疑を終結して、お諮りいたします。本案については、委員会付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 討論を終結して、お諮りいたします。本案については、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第77号については、原案のとおり可決されました。

議案第78号防府市奨学資金貸付条例中改正について

○議長（上田 和夫君） 議案第78号を議題といたします。

理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 池田 豊君 登壇〕

○市長（池田 豊君） 議案第78号防府市奨学資金貸付条例中改正について、御説明申し上げます。

本案は、経済的な理由により学生が大学等への進学、就学を諦めることのないよう、奨学金の貸付けをより利用しやすくするため、貸付制度の拡充を行おうとするものでございます。

改正の内容につきましては、貸付金額の月額を増額し、及び入学時にまとまった資金が必要な学生に対する入学一時金に係る規定を設けるもの、並びに奨学金を無利子とするものなどがございます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（上田 和夫君） 本案に対する質疑を求めます。20番、田中健次議員。

○20番（田中 健次君） 即決で、この議案については審議されるということなので、委員会であればその場でお聞きしようと思ったようなことですが、12月3日に開催した勉強会の中で、参考として、初回の振込を4月中旬に実施をするようにしたいと、これまでは6月下旬ということで、申請期間を2月1日から3月10日までに前倒しするというようなことが書いてあります。

それで、奨学金については、今は名前が変わっておりますが日本学生支援機構、元の日本育英会であるとか、それから県のほうも奨学金制度たしか持っておるんじゃないかと思うんですが、そういう形で幾つか制度があります。それで、ある意味では、例えばこの日本学生支援機構の奨学金を受けて、なおかつ防府市の奨学金を受けるということはできなかつたんじゃないかと思うんですが、どちらか一方ということで、どちらかという、中身というのか、支給金額が大きい日本学生支援機構の奨学金を申し込んで、それが難しかった人、残念ながらそれに落ちた人が例えば防府市の奨学金を受けるといような形のものがあつたような気がするんですが。

そうなりますと、この前倒しをするということの中で、そういうことが可能であるのか。今まではそういうことの順番踏まえる意味で多少後ろになっていたような気がするんですが、ちょっとその辺について問題がないのかどうか、お答え願いたいと思います。

○議長（上田 和夫君） 教育部長。

○教育部長（能野 英人君） 御質問にお答えします。

国の学生支援機構とか県のひとつづくり財団とかそういった奨学金とうちの奨学金の兼ね合いでございまして、先ほど議員が言われたように、以前は国のほうでそういう審査を通

らなかった方がうちのほうを借り受けるということがあったことがあるかもしれないんですけど、特にそれが全てではございませんで、あくまで奨学金でございますので、入学当初から資金が必要な方が借りられているということでございますので、うちのほうとしてはできるだけ早く、4月にもうお手元に届けたいということで制度改正をしております。

実際には、多分、国のほうも県のほうも、どっかの奨学金を借りられた場合は、併せて複数の奨学金が借りられないということになっておるんじゃないかと思えます。これは、返済の関係がございまして、負担が大きくなれば返済が難しくなるということでございますので、そういった制度になっていると思えますので、うちがこのたび増額して、定住含めて5万円ということになっております。4月からお手元に届けたいという制度改正をしておりますので、うちのほうを先に選ばれて、借りられるということは当然想定しておりますので、そのことを含めての制度改正でございます。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） 20番、田中健次議員。

○20番（田中 健次君） そうなりますと、例えば防府市の場合には、よその奨学金を借りておっても、それは返すのは大変になるかもしれませんが、それは特にチェックをしないということになるんですか。

○議長（上田 和夫君） 教育部長。

○教育部長（能野 英人君） すいません、ちょっと説明が不足したかもしれません。

うちの場合も、よそ様の奨学金を借りられた場合については、うちのほうの対象からは外れます。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） よろしいですか。ほかにございますか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 質疑を終結して、お諮りいたします。本案については、委員会付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 討論を終結して、お諮りいたします。本案については、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第78号については

原案のとおり可決されました。

議案第79号防府市火災予防条例中改正について

○議長（上田 和夫君） 議案第79号を議題といたします。

理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 池田 豊君 登壇〕

○市長（池田 豊君） 議案第79号防府市火災予防条例中改正について、御説明申し上げます。

本案は、対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の改正に伴い、本市の火災予防条例もこれに準じて改正を行おうとするものでございます。

改正の内容につきましては、急速充電設備の位置、構造及び管理に関する基準を改め、及び条文整備を行うものでございます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（上田 和夫君） 本案に対する質疑を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 質疑を終結して、お諮りいたします。本案については、委員会付託を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 討論を終結して、お諮りいたします。本案については、これを可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第79号については、原案のとおり可決されました。

議案第80号令和2年度防府市一般会計補正予算（第5号）

○議長（上田 和夫君） 議案第80号を議題といたします。

理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 池田 豊君 登壇〕

○市長（池田 豊君） 議案第80号令和2年度防府市一般会計補正予算（第5号）に

ついて、御説明を申し上げます。

今回の補正予算では、第1条におきまして、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億3,782万円を追加し、補正後の予算総額を569億8,032万5,000円とするものでございます。

補正予算の内容につきましては、新型コロナウイルス感染症対策費1億2,000万円のほか、防府産米緊急対策費1,320万円、デジタル化推進対策費2,500万円、ふるさと振興基金への積立金1億円、また市民の方からの御寄附によります図書備品の整備経費や先般議決をいただきました非常勤職員の報酬費用弁償及び期末手当に関する条例等の改正に関わります本市職員等の職員給与費等の減額などを計上いたしております。

それでは、主な補正項目につきまして、お手元の12月補正予算案の概要で説明をさせていただきます。

3ページをお願いいたします。

まず、最初に新型コロナウイルス感染症対策です。

感染症対策といたしまして、高齢者や基礎疾患のある方を対象に、希望により無症状の方でも検査料の一部を自己負担することにより、PCR検査等の任意検査を市内で受診できる体制を整備するためのPCR検査等受診体制整備事業として1,000万円を計上いたしております。

併せて、新型コロナウイルスワクチンの供給が可能となった場合に速やかに接種が開始できるよう必要な準備を行うための新型コロナウイルスワクチン接種体制準備事業として1,200万円を計上いたしております。

次に、経済活性化対策といたしまして、いまだ感染症収束の兆しが見えない中、今後消費が落ち込むことに備えた消費拡大対策として、商品券を発行するプレミアム付商品券発行事業6,800万円。新事業展開や事業拡大を図る市内中小企業者などが行う新たな雇用を伴う投資に対し、最大200万円を補助するものづくり企業チャレンジ応援事業2,000万円。

5ページをお願いいたします。

春の観光シーズン前に本市の魅力を広く発信していくための準備として、本市が誇る4つの観光拠点、防府天満宮、毛利氏庭園、阿弥陀寺、周防国分寺の観光プロモーション動画を制作いたします観光PR動画制作事業1,000万円、以上3事業合わせまして9,800万円を計上いたしております。

次に、ほうふ産米緊急対策です。

トビイロウンカや台風による塩害などの被害を受け、厳しい経営環境となっております

水稻農家の生産意欲を喚起するため、次期作に向けた主食用米の種子購入費用全額を支援することとし、ほうふ産米次年度生産緊急応援事業1，400万円を計上いたしております。

次に、デジタル化推進対策です。

国が進めるデジタル化に不可欠なマイナンバーカードの普及を推進するため、組織体制を強化し、さらなる取組を行っていくためのマイナンバーカード普及推進事業として2，500万円を計上いたしております。

7ページをお願いいたします。

先ほど申し上げました職員給与費等の減額などを行うことといたしております。

また、競輪事業特別会計から繰入れを行い、その相当額を今後のまちづくりに広く活用できるよう、ふるさと振興基金への積立金として1億円を計上いたしております。なお、プレミアム付商品券発行事業と観光PR動画制作事業につきましては、ふるさと振興基金から繰入れを行うことといたしております。

2ページにお戻りいただきます。

1、歳出予算を御覧ください。

その他の事業といたしまして、図書備品整備事業を寄附金により行うことといたしております。

次に、2、歳入予算でございます。

このたびの補正予算の財源につきましては、国庫支出金及び県支出金のほか、先ほど申し上げましたふるさと振興基金繰入金などにより対応させていただいております。

また、3、繰越明許費の追加といたしまして、プレミアム付商品券発行事業及びものづくり企業チャレンジ応援事業につきましては、支出の一部が年度を超えることから繰越明許費を設定させていただいております。

また、4、債務負担行為の追加といたしまして、令和3年度からの庁舎建設事業に伴い必要となります解体工事等を円滑に実施するための庁舎建設事業（2、3号館の解体工事）と、年度開始前に運行事業者を選定し、年度の切れ目なく運行を行うためのデマンドタクシー運行業務事業の2件を設定させていただいております。

いまだ新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えず、今後もさらなる対策が必要となっておりまいます。引き続き、国や県と連携を密にし、感染予防、感染拡大防止対策と市内経済の活性化にしっかりと取り組んでまいります。今後も、市議会と一体となって市民の皆様と一緒にこの状況を乗り越えていきたいと考えております。よろしく御審議のほど、お願いいたします。

○議長（上田 和夫君） 本案に対する質疑を求めます。22番、石田議員。

○22番（石田 卓成君） 予算委員会で副委員長で言えないので、ここでお聞きさせてもらいます。

概要の4ページのプレミアム付商品券の発行事業なんですけど、これは、たしか前回コロナ対策でやったときに、市外に逃げるお金が3分の2もあるということで、なるべく市内でお金が回るように今後考えてくださいねと、使える枠組みを、そういう要望したんですけど。結局、ちょっと今回もなかなか時間がなかったみたいなんですけど、今後に向けて、そういう話し合いとかはされているのかどうかというのをちょっと教えてもらいたいなと思うんですけど、どう考えておられるか。

○議長（上田 和夫君） 石田議員、予算委員会でも質問はできますので、副委員長は。（発言する者あり）

答弁のほう、産業振興部長。

○産業振興部長（熊野 博之君） 御質問にお答えします。

市外、市内事業者以外の事業者等に売上げが流れたりするという事だろうとは思いますが。

今回、私どもそういうことも商工会議所と連携を取りながら検討してまいっておるんですが、制度の考え方につきましては、プレミアム付商品券の事業の制度を決めるに当たっては、店舗を経営する事業者の皆様に対する支援とともに、購入される市民の皆様が生活に必要な物を買やすい環境を整え、消費を喚起することも大事な事だと考えております。

また、プレミアム付商品券を利用できる店舗等に制限をかけますと、購入される方にいろんなトラブルが起きやすくなるので、事前に利用できる店舗等の周知等でかなりの時間を要することもございます。

こういう検討はして、それぞれ商工会議所と検討して、今回の制度も市民の皆様へトラブルがないよう、前回と同様のやり方で店舗を限定した販売とかをすることないような仕組みでやろうと思っております。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） 22番、石田議員。

○22番（石田 卓成君） ありがとうございます。かなり苦しかったみたいで、そういう言い訳みたいに聞こえたところもある。時間がないけ、今回は確かにそういう枠組みつくれんというのも分からんでもないんです。

ただ、今後については、例えば市内業者に限定して使えるようにして、プレミアム率1.

5倍とかやるというのも方法の一つなんです。それは、実際そうやってやる自治体もあるわけで、全国には。なるべく地場のお金をよそに逃さないと、東京に持って帰らさないと、こういう仕組みというのは、本当にそういう行政が誘導していかないとできないはずなので、ぜひ、それは使うほうの便利さというのものもあるんでしょうけど。

今回のコロナの自粛要請だってそうですけど、採算合うか合わんかで判断しますよね、大手というのは。合えば開けますよね、平気な顔して、なかなか協力してもらえなかったりとか。あと採算が合わんにやすぐ撤退したりとか。従業員だって、本当安い賃金で、ブラックとは言わんですけど、かなり厳しい雇用環境で働かされているという話も多々聞くことも多い。やっぱり、お金だけを目当てにやられているところもかなり多いんじゃないかと思うんで、やっぱり、ちゃんと地元を思って、地域の発展を願ってやっておられる地元企業にしっかりお金が落ちるような枠組みづくりは、今後考えていただきたいなと思いますので、これ、利害が絡むんで、結構時間要すると思うんです。そういう枠組みつくるとしても、会議所とかが。なので、しっかり市のほうからもそういうふうな要望のほうを会議所なんか伝えていただきたいなと思いますので、今後。質疑ということなんで、この辺にしておきます。

以上です。

○議長（上田 和夫君） ほかにございますか。6番、和田議員。

○6番（和田 敏明君） すいません、ちょっと全体的なことで、これ、ちょっと補正予算書と概要の整合性のところで、例えば見ていただきたいのが、概要の6ページ、上段、これ1,400万円で計上されておりますが、補正予算書の28ページのところの補正額は1,320万円ですか。ここがちょっと整合性が合っていないのではというところと、それと、概要の6ページ下段のマイナンバーカード、デジタル化推進対策は2,500万円計上されております。一方で、補正予算書の14、15ページでは、これ補正額は3,804万4,000円となっております。この辺のちょっと整合性が取れておらないんです。いわゆる、職員給与費ですか、このところが入っていない。

概要としましても、補正予算額と概要のこの数字が合わないというのはちょっと違和感がございます。ちょっと、その辺説明してもらえますか。

○議長（上田 和夫君） 総務部長。

○総務部長（伊豆 利裕君） お答えをいたします。

概要につきましては、説明ということで申し上げます。分かりやすい数字ということで、1,320万円という細いといいますか、小さい数字をお示しするよりはこのぐらいということで全体をお示ししたいということで、これをお示しをしております。

それから、もう一点のデジタル化推進対策でございますが、これにつきましては、すいません、予算書の17ページをお願いいたします。

これにつきましては、デジタル化推進対策のマイナンバーカードの普及推進事業ということで、17ページの上段の中ほどでございますけれども、住民基本台帳管理業務という中で、これはぴったり同じ数字ですけれども2,500万円という数字をお示ししております。

以上でございます。

○議長（上田 和夫君） 6番、和田議員。

○6番（和田 敏明君） 今の説明された部分は分かるんです。ただ、あちらとこちらで計上の仕方が違うという載せ方、概要は事業説明というのは分かるんですけど、これをもって我々は慎重審議をしていかないと、これに対してデメリットが発生するのはやっぱり市民の皆様ですから、この辺の計上というものは整合性を持ってきちんとやっていただきたい、このことを要望して終わります。

○議長（上田 和夫君） 20番、田中健次議員。

○20番（田中 健次君） ちょっと予算委員会で申し上げようと思っておったんですが、今ちょっと話に出ましたので。

ほうふ産米の分、1,320万円か1,400万円かという話ですが。私もこれちょっと気がついて、当初予算委員会で申し上げようと思っていたんですが、ちょっとこれ議論になりましたから、ここで申し上げます。

1,320万円が正味の金額であれば、むしろ四捨五入して、概要のほうは1,300万円にするのが筋じゃないかというふうに私は思います。80万円切り上げて、1,320万円を1,400万円にするよりは。

ちょっと意見として申し上げておきますので、今後検討いただきたいと思います。

○議長（上田 和夫君） ほかにございますか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 質疑を終結して、お諮りいたします。本案については、なお審査の要があると認めますので、所属常任委員会に付託したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第80号については、予算委員会に付託と決しました。

議案第 8 1 号令和 2 年度防府市競輪事業特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 8 2 号令和 2 年度防府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 8 3 号令和 2 年度防府市駐車場事業特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 8 4 号令和 2 年度防府市交通災害共済事業特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 8 5 号令和 2 年度防府市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）

議案第 8 6 号令和 2 年度防府市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）

○議長（上田 和夫君） 議案第 8 1 号から議案第 8 6 号までの 6 議案を一括議題といたします。

理事者の補足説明を求めます。市長。

〔市長 池田 豊君 登壇〕

○市長（池田 豊君） 議案第 8 1 号から議案第 8 6 号までの 6 議案につきまして、一括して御説明を申し上げます。

まず、1 ページの議案第 8 1 号令和 2 年度防府市競輪事業特別会計補正予算（第 1 号）についてです。

4 ページの歳入におきましては、コロナ禍においてインターネット販売などによる車券売上げの伸びが見込まれますことから、車券発売金収入の増額を計上いたしております。

また、6 ページから 9 ページの歳出におきましては、車券発売金収入の増額等による払戻金などや競輪場施設整備基金積立金 3 億円、並びに一般会計繰出金 1 億円を計上いたすとともに、先般議決をいただきました非常勤職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の改正に関わります本市職員等の職員給与費等の補正を行っております。

また、歳入歳出の収支差を予備費で調整いたしております。

次に、議案第 8 2 号から議案第 8 6 号までの令和 2 年度防府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）、令和 2 年度防府市駐車場事業特別会計補正予算（第 1 号）、令和 2 年度防府市交通災害共済事業特別会計補正予算（第 1 号）、令和 2 年度防府市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）及び令和 2 年度防府市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）の 5 議案についてです。

いずれの会計も、先ほど申し上げました競輪事業特別会計と同様に、条例改正に関わる職員給与費等を補正し、その収支差につきましては一般会計からの繰入金等で調整いたしているものでございます。

以上、議案第 8 1 号から議案第 8 6 号までの 6 議案につきまして一括して御説明を申し上げます。よろしく御審議のほど、お願いいたします。

○議長（上田 和夫君） ただいまの補足説明に対して、一括して質疑を求めます。

16番、松村議員。

○16番（松村 学君） 7ページになります。競輪事業でございます。

積立金が一応3億円ほど今回積み立てられております。大変いいことだと思っております。

勉強会でもちょっとお聞きしたんですけど、令和元年度でこの競輪場施設整備基金が10億円ぐらいあったということですから、今回3億円積んだんで13億円ということになるのかなと思いますが。

それに対しまして、この競輪施設は他市の競輪場からも見てもかなり老朽化が進んでまして、直近では33バンクの改修がなされまして、これも大金かかっておりますが。今後の改修で大きいものが多分いろいろとあると思います。たしか宿泊施設やらも何かあるじゃとかいうような話もちょっと聞いたような記憶がありますが。今後の大きい改修の年次のなちょっと計画をここでお聞きしたい。それと、同時に概算で試算がどれぐらい出ているのか、その事業その事業、ちょっと教えていただきたいと思います。

○議長（上田 和夫君） 産業振興部長。

○産業振興部長（熊野 博之君） 御質問にお答えします。

競輪事業の今後の施設整備等の御質問でございますが、ただいま外部委員会を設置して、競輪事業の活性化計画をつくっている最中でございます。今年度末に策定予定で、今からパブリックコメントも予定しておりますが。

その概要につきましては、その都度、外部委員会の結果につきましてはホームページ等でお知らせしておりますが、メインスタンド等、老朽化、議員おっしゃるとおり、メインスタンドをはじめ老朽化した耐震の著しく乏しい施設が多くあります。そういうものを更新していこうという今活性化計画をつくりつつあります。この内容につきましては、議会のほうにも今後御説明をする予定にしております。

ただ、概要、大まかなことを言いますと、来年から施設整備をはじめいろんなソフト、ハード、予定しておるんですけど、それを5か年計画の計画を今立てておりまして、整備のほうはその中にまた位置づけますが、それはまた今調整中でございますので、外部委員会との兼ね合いもありますので、今ここではまだ言うことはできませんが、今後議会にも御報告、御説明をさせていただきたいと思います。

そういう計画を今策定しつつありますので、御理解のほどよろしく申し上げます。

○議長（上田 和夫君） 16番、松村議員。

○16番（松村 学君） 確認ですけど、今いろんな、これから老朽化を更新していくということでございますけども、それについては一応全て概算が出て、その計画に盛り込

まれているという、こういう認識でよろしいですか。

○議長（上田 和夫君） 産業振興部長。

○産業振興部長（熊野 博之君） その詳細も今からの計画が詰まり次第、御報告させていただきます。

○議長（上田 和夫君） ほかにありますか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 質疑を終結して、お諮りいたします。ただいま議題となっております6議案については、なお審査の要があると認めますので、所属常任委員会に付託したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田 和夫君） 御異議ないものと認めます。よって、議案第81号については産業建設委員会に、議案第82号から議案第86号までの5議案については教育民生委員会にそれぞれ付託と決しました。

○議長（上田 和夫君） 以上で、本日の日程は全て議了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

次の本会議は12月10日の午前10時から一般質問を行いますので、よろしく願いいたします。

なお、直ちに議会運営委員会を開催いたしますので、委員の方は3階の全員協議会室に御参集ください。よろしく願いいたします。

午前11時55分 散会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和2年12月8日

防府市議会議長 上 田 和 夫

防府市議会議員 梅 本 洋 平

防府市議会議員 河 村 孝